

プレゼンテーション法 (2単位)

担当者氏名 全専攻教員

◆学習・教育目標

実験より得られた研究成果は、プレゼンテーションにより他へ発信する必要がある。本カリキュラムは、自然科学分野の代表的な二種類のプレゼンテーションの技術について、実践を通して習得させることを目的とする。履修者各自の研究内容を材料として、専攻内の全教員の連携の下に、効果的なプレゼンテーションを行うためのノウハウを教授する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

プレゼンテーション

微生物学

生化学

食品科学

醸造科学

発酵科学

環境科学

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	プレゼンテーションとは	自然科学分野のプレゼンテーションとは	
2	ポスター発表	全体の構成決め	
3	ポスター発表	ポスター作成要領（構成・配置）	
4	ポスター発表	ポスター作成要領（配色・文字）	
5	ポスター発表	ポスター説明要領（全体概略説明）	
6	ポスター発表	ポスター説明要領（質疑応答・討論）	
7	ポスター発表	実践	
8	ポスター発表	実践	
9	口頭発表	全体の構成決め	
10	口頭発表	スライド作成要領（構成・配置）	
11	口頭発表	スライド作成要領（配色・文字）	
12	口頭発表	スライド説明要領（図表と口頭説明のバランス）	
13	口頭発表	スライド説明要領（制限時間内でのバランス）	
14	口頭発表	実践	
15	口頭発表	実践	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

特に指定しない

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

学会・研究会等参加時に、多くのプレゼンテーションに触れ参考にすること

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

自分の研究内容を元に、実際にポスターおよび口頭発表のプレゼンテーションを行ってもらい、これを評価対象とする。

◆その他受講上の注意事項

発表会の際は、自分のプレゼンテーションのみならず、他の学生のプレゼンテーションにも十分に注意と関心を払うこと。受講生間で活発な質疑応答をすることが望ましい。